

海軍公報

第三千三百七號

大正十二年十一月一日(木)
海軍大臣官房

○ 辭令

○大正十二年十一月一日

作田哲平	鳥越喜己	甲賀正己	山室盛龜	山岸一雄	村嶋秀之助	森嶋秀之助	平谷潤三	片山昌三	前川正次	北川六郎	谷信吾	岡武男	堤豐作	日野健一	尚省三	黑崎海平
------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	-----	------

(各通)

松山常次郎	佐藤俊雄	下村忠夫	松田小虎	永江篤造	神野榮治	二神種人	中野清吾	川原一實	榎垣隆式	德永隆信	山田保巧	久本規人	安藤邦三	大藤春數	安廣美光	龜田美茂	岩本成美	中本滿雄	隱岐
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----

海軍公報 第三千三百七號

大正十二年十一月一日

一〇六五

2332

任海軍豫備一等兵曹

興田 德之助
谷口 登
小椋 和吉
細川 石太郎
田中 五郎

内山 九進
松屋 八男
若林 德男
小島 繁一
笹島 英一
平井 忠吾
黒田 俊彦
村谷 義理
村田 義理
神村 節次郎
善本 行雄
直井 晋作
竹内 太郎

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

横須賀鎮守府附

海軍大佐 松本 匠
同 藤井 謙介

舟楫艦長兼横須賀海兵團教官

同 長谷川 清

海軍軍令部出仕兼海軍省出仕

海軍省人事局第一課長
長良艦長

同 松本 下元
同 佐藤 巳之吉
海軍中佐 河村 儀一郎

海軍軍令部出仕兼海軍省出仕

海軍軍令部出仕

金剛副長

第二艦隊參謀

吳鎮守府附

横須賀海兵團教官

海軍砲術學校教官

佐世保鎮守府附

吳鎮守府附

横須賀鎮守府附

吳鎮守府附

横須賀鎮守府附

横須賀鎮守府附

佐世保鎮守府附

海軍兵學校教官兼監事

谷風驅逐艦長心得

横須賀鎮守府附

吳鎮守府附

韓崎副長

佐世保鎮守府附

宇津艦長

横須賀鎮守府附

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

佐世保鎮守府附	伊勢砲術長	千早水雷長兼分隊長	橫須賀鎮守府附	野間運用長兼分隊長	橫須賀鎮守府附	吳鎮守府附	朝日運用長兼分隊長	大和運用長兼分隊長	室戸運用長	海風驅逐艦長心得	橫須賀鎮守府附	青島運用長兼分隊長	夕風驅逐艦長心得	霞ヶ浦海軍航空隊副官兼教官	馬公要港部副官兼參謀	霞ヶ浦海軍航空隊航空船隊長 <small>兼職如故</small>	山城水雷長兼分隊長	阿蘇水雷長兼分隊長 <small>兼職如故</small>	淀水雷長兼分隊長	佐世保海兵團勤務副官兼教官分隊長	橫須賀鎮守府附
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
原 精太郎	大澤 一介	兒井 勳	大立 勝	野村 正光	足立 瀧	黒部 昇	國府 盡平	吉川 晃	吉成 格四郎	一瀬 英太郎	森下 與一郎	島村 綱雄	齋藤 二朗	大崎 教信	土井 卓三	永峯 專治	月削 末藏	千葉 成男	田鎖 恭一郎	高橋 榮吉	岡野 俊孝

霧島航海長兼分隊長	榛名砲術長	春日運用長兼分隊長	鎮海防備隊水雷長兼分隊長	第一掃海艇長兼海軍水雷學校教官	吳鎮守府附	佐世保鎮守府附	吳鎮守府附	佐世保鎮守府附	吳鎮守府附	龍田砲術長	橫須賀海軍航空隊飛行隊長心得兼教官霞ヶ浦海軍航空隊教官海軍砲術學校教官	橋驅逐艦長心得	吳鎮守府附	吳鎮守府附	多摩砲術長	吳鎮守府附	海軍軍令部出仕兼海軍省教育局員心得	橫須賀鎮守府附	
同	同	同	同	海軍大尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
小 熊 文雄	石 黒 虎雄	阪 本 敏	玉 城 利 治	遠 藤 昌	大 堀 康 次	葉 若 秀 雄	田 尻 旭 一	上 村 眞 翠	前 田 藤 三 郎	大 井 吉 郎	別 府 明 朋	佐 藤 廣 藏	古 橋 龜 一	小 林 利 三 郎	田 中 重 正	河 口 嘉 勝	安 藤 龜 治 郎	大 西 瀧 治 郎	坂 元 宗 隆

駒橋水雷長兼分隊長海軍潜水學校教官	同	秋山 勝三	吳鎮守府附	同	松下 富模
海軍兵學校教官兼監事	同	中尾 八郎	同	前原 富義	
霞ヶ浦海軍航空隊附兼教官	同	荒木 保	佐世保海軍航空隊分隊長	同	牟田口 格郎
橫須賀鎮守府附	同	木村 進	吳海兵團分隊長兼教官	同	杉坂 一雄
橫須賀鎮守府附	同	影山 五郎	同	同	小川 弘
海軍兵學校教官兼監事	同	大杉 守一	佐世保海兵團分隊長兼教官	同	石坂 千俊
第三十四潜水艦長心得	同	市岡 壽	同	同	小島 歡一
廣海軍工廠航空機部検査官兼總務部部長海軍兵學校教官	同	古瀬 貴季	待命(横)	同	宗雪 新之助
吳鎮守府附	同	白根 強介	橫須賀海軍航空隊分隊長心得	同	瀬戸山 安秀
佐世保防備隊分隊長	同	小豆澤 成	同	同	北村 昌幸
同	同	前田 芳雄	吳海兵團分隊長心得兼教官	同	猪口 敏平
佐世保海兵團分隊長兼教官	同	岩淵 三三	柏乘組	同	川井 繁藏
同	同	高池 脩三	佐世保鎮守府附	同	小西 成三
同	同	小田切 義作	馬公防備隊分隊長心得	同	則滿 幸次
吾妻分隊長	同	藤吉 直四郎	佐世保鎮守府附	同	出石 寛二
同	同	高橋 道夫	佐世保海兵團分隊長心得兼教官	同	小林 正
霞ヶ浦海軍航空隊附兼教官	同	堀 鴻一	吳鎮守府附	同	本田 甚次郎
待命(横)	同		佐世保鎮守府附	同	近藤 三郎
			佐世保海兵團分隊長心得兼教官	同	小川 越喜

奥海兵團分隊長心得兼教官 休職(横)	能登呂分隊長心得	(各連)	横須賀海兵團分隊長心得兼教官	襟裳分隊長心得	明石分隊長心得	横須賀防備隊分隊長心得	安宅乗組 待命(佐)	佐世保海兵團分隊長心得兼教官	洲崎分隊長心得	關東分隊長心得	野間分隊長心得	横須賀海軍航空隊附	伊勢乗組	保津艦裝員	壘田乗組	横須賀海軍航空隊附	勢多乗組	佐世保鎮守府附	佐世保鎮守府附		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉	同	同	同	同	同	同	同	同	
安部 龍	續木 龍	丸安 金	天野 重	河野 忠	大西 茂	天谷 嘉	天谷 重	佐野 敬	山代 勝	森田 武	平山 昭	山岡 昭	岡田 茂	大川 邦	岡田 友	小野 良	飯田 武	濱田 武	加藤 秀	小林 一	
比良乗組 待命(横)	柏乗組	榊乗組	第四驅逐艦乗組	檜乗組	休職(佐)	武蔵乗組	杉乗組	明石乗組	霞ヶ浦海軍航空隊分隊長	佐世保鎮守府附	免兼青島分隊長	横須賀鎮守府附	霞ヶ浦海軍航空隊分隊長	佐世保海兵團分隊長兼教官	免兼襟裳分隊長	筑摩分隊長	横須賀鎮守府附	同	佐世保海兵團分隊長兼教官	海軍機關中尉	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
磯久 研	大林 次	中島 金	香西 三	久野 修	古閑 孫	木塚 正	岡田 四	中澤 義	佐々木 猪	加藤 孝	小原 貞	門脇 國	向坂 六	安食 寛	須藤 叔	齋藤 喜	伊東 忠	藤田 健	大江 秀	三	

海軍公報 第三千三百七號

大正十二年十一月一日

一〇六九

橫須賀防備隊分隊長心得	同	增田 仁平
吳海兵團分隊長心得兼教官	同	安藤 錦之助
橫須賀海兵團分隊長心得兼教官	同	坂上 富平
五十鈴分隊長心得	同	釜田 勇
兼梨乘組	同	中筋 新太郎
佐世保海兵團分隊長心得兼教官	同	河合 深
阿蘇分隊長心得	同	久安 房吉
佐世保鎮守府附	同	橋本 勤
佐世保海兵團分隊長心得兼教官	同	井澤 榮
兼檢乘組	海軍機關少尉	宮川 正雄
湊海軍病院長	海軍軍醫大佐	長谷川 靜一
湊海軍病院副官兼部員	海軍軍醫大尉	三宅 正一
橫須賀鎮守府附	海軍軍醫中尉	高橋 謙
湊海軍病院部員	海軍藥劑中尉	南部 眞
待命(吳)	海軍主計大尉	石井 秀次郎
兼第十一驅逐隊主計長心得	海軍主計中尉	錢井 益一
佐世保鎮守府附	同	岡部 義麿
橫須賀鎮守府附	同	岩田 清治
室戶主計長心得	同	

待命(橫)	海軍主計少尉 菅野 利
豫備役(以上「海軍省」)	海軍造船大尉 田中 久重
○雜款	
○軍艦進水	長崎三菱造船所ニ於テ建造ノ軍艦川内十月三十日午前十一時進水セリ
○驅逐艦進水	舞鶴要港部工作部ニ於テ建造ノ第七驅逐艦十月三十日午前十時進水セリ
○郵便物發送先	軍艦日進宛
自今	橫須賀郵便局留置
○米國大使館附武官代理「ガトネット、ヒュトリングス」ハ大正十二年六月八日附海軍少佐ニ進級セル旨通知アリタリ	

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十一月一日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、蒲州、榛名、阿蘇、鳳翔、

口長門、口筑摩、迅鯨、口金剛、口北上、

若宮、口八雲、磐手、淺間

口初春、初雪、春風、藤、薄、口響、

有明、如月、神風、吹雪、初霜、浦風、

時雨、夕風、口島風、灘風、秋風、

羽風、口太刀風、帆風、沙風、夕風、

口澤風、矢風、沖風、峯風、口波風、

驅一、野風、沼風

潛波一、潛波二、口潛一四、潛波一〇、

口潛五七、潛四六、潛四七、口潛三〇、

潛二九、潛二八、潛五八

口掃一、掃二、掃三

雄、鷗、鴻

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎、

尻矢、神威、青島、富士、鶴見、栗橋

【石川島】 驅一二

【品川】 日進

【横濱】 五十鈴

口驅三、驅五

【浦賀】 阿武隈

【館山】

驅六、驅八

【野添】

口葛、萩

【大湊】

春日、口椿、樺、桑、棋、口夕立、白鷺、夕暮、

三月、口椿三、八、潛三九、潛四〇

口土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歲、

勝利、明石、天龍、駒橋、木曾、

口球磨、多摩、大井、伊勢、日向、

口矢矧、韓崎、鬼怒

口追風、彌生、卯月、疾風、口時津風、

磯風、天津風、濱風、口江風、葵、

谷風、菊、口驅一六、驅一八、口驅一〇、

口浦波、長月、氷無月、磯波、

綾波、菊月

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、

潛波七、潛波八、口潛二六、潛二五、

潛二七、口潛三七、潛二三、潛二四、

口潛二三、潛二〇、口潛三六、潛三四、

潛三五、潛一九、潛四四、潛四五、

口潛五一

早瀬、野間、室戸、攝津、劍崎、

能登呂、潛六九、潛七一、潛七二、潛七三、

【神戶】

海軍公報 第三千三百七號 大正十二年十一月一日

一〇七一

【舞鶴】山風、海風、榎、栢、驅七
 【佐世保】關東
 最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、龍田、陸奥、常磐、由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬、桐、榊、櫻、桶、野分、白雫、松風、霞、蓮、驅二、蓼、蓬、梨、竹、榎、樅、榆、梅、栗、柿、菱、葦、蕨、董
 潛一八、潛二二、潛四二、潛四三、潛四一、潛六二、潛六八、潛五九、敷島、知床、襟裳、佐多
 【長崎】長崎、川内
 【鎮海】桂、楠、楓、梅
 潛三一、潛三三、潛三二
 【旅順】若葉、潮、朝風、子日
 【上海】隅田
 【漢口】保津、安老、伏見
 【南京】櫻、桃
 【宜昌】勢多
 【重慶】比良

大和 (十月十九日横須賀發—測量地)
 石廊 (十月二十五日吳發—「タラカン」)
 柳、檜 (十月二十六日南京發—漢口)
 鳥羽 (十月二十八日宜昌發—重慶)
 松、榊、杉、柏 (十月二十九日馬公發—香港)
 代志丸 (十月二十九日小樽發—横須賀)
 隱戸 (十月二十九日吳發—「ツンペドロ」)
 堅田 (十月二十九日漢口發—長沙)
 嵯峨 (十月二十九日長沙發—漢口)
 膠州 (十月三十日—三崎發—作業地)
 野島 (十月三十一日吳發—長崎)

【航海中】

(外一頁、部内限ナシ)

海軍公報

第三千三百八號

海軍大臣官房

大正十二年十一月二日(金)

○ 聯 令

海軍大佐 松下 元

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍學生銓衡委員ヲ命ス(海軍省)

海軍中佐 鹽澤 幸一

海軍大佐左近司政三出張不在中海軍省軍務局第一課
長代理ヲ命ス(海軍省)

海軍機關中佐 山中 政之

第一課勤務ヲ命ス(海軍省機關局)

海軍機關特務少尉 小野長三多

第一課勤務ヲ命ス(海軍省機關局)

○ 雜 款

○ 出發

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍機關大尉近藤一馬、海軍大尉加藤尙雄、同千田貞敏、同室井留雄ハ來ル十一月七日横濱出港ノ天洋丸ニテ米國ニ向ク出發ノ豫定

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍大佐高橋良司、海軍主計中佐河野甲一郎、海軍機關中佐本多敬太郎、海軍中佐高橋通廣、海軍少佐降幡敏、海軍少佐星榮守一、海軍技師其目雅治ハ本月十一日神戸出港ノ賀茂丸ニテ出發ノ豫定

○ 宿所變更

米國駐在海軍少佐雪下勝美ハ宿所ヲ左記ニ變更セリ

○ Mrs. Link, 55 Murray Pl., Princeton, N. J.

○ T. S. A.

海軍公報 第三千三百八號 大正十二年十一月二日

一〇七三

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セス

○十一月二日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、滿州、日進、榛名、阿蘇、

鳳翔、口長門、口筑摩、迅鯨、口金剛、

口北上、若宮、口八雲、磐手、淺間、

口初春、初雪、春風、藤、薄、口響、

有明、如月、神風、吹雪、初霜、浦風、

時雨、夕風、口島風、灘風、秋風、

羽風、口太刀風、帆風、汐風、夕風、

口澤風、矢風、沖風、峯風、口波風、

驅一、野風、沼風、

口潛波一、口潛波二、口潛波三、口潛波四、口潛波一〇、

口潛波五、口潛波六、口潛波七、口潛波三〇、

口潛波二九、口潛波二八、口潛波五八、

口掃一、口掃二、口掃三、

雄、鷗、鴻、

朝日、洲野、鴨戸、武藏、大泊、高崎、

尻矢、神威、青島、富士、栗橋、

【石川島】 驅一二

【榎濱】 五十餘

口驅三、驅五

【浦賀】 阿武隈

驅六、驅八

【館山】 松江

【野蒜】 口葛、萩

【大湊】 春日

口椿、櫻、桑、楨、口夕立、白鷺、夕暮、

三日月

口潛三八、口潛三九、口潛四〇

【吳】 土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歲、

勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、

口球磨、多摩、大井、伊勢、日向、

口追風、彌生、卯月、疾風、口浦波、

長月、水無月、磯波、綾波、菊月、

口時津風、磯風、天津風、濱風、口江風、

葵、谷風、菊、口驅一六、驅一八、

口驅一〇、驅四

口潛波三、口潛波四、口潛波五、口潛波六、

口潛波七、口潛波八、口潛波二六、口潛波二五、

口潛波二七、口潛波三七、口潛波三三、口潛波二四、

口潛波二三、口潛波二〇、口潛波三六、口潛波三四、

口潛波三五、口潛波一九、口潛波四四、口潛波四五、

口潛波五一

早朝、野間、攝津、劍崎、能登呂

口潛六九、口潛七一、口潛七二、口潛七三、

口潛七〇

【神月】 間宮

【舞鶴】山口山風、海風、榎、柏、驅七
 關東
 【佐世保】最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、山由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬、
 〆桐、樺、櫻、橘、〆野分、白雪、松風、霞、〆蓮、驅二、蓼、蓬、〆梨、竹、榎、樅、〆榆、梅、栗、柿、
 〆菱、葦、蕨、萱
 〆一八、〆二二、〆四二、〆四三、
 〆四一、〆六二、〆六八、〆五九
 敷島、知床、襟裳、佐多
 【長崎】長崎、川内
 【鎮海】〆桂、楠、楓、梅
 〆三一、〆三三、〆三三
 【旅順】〆若葉、潮、朝風、子日
 【上海】〆隅田
 【南京】〆榎、桃
 【漢口】保津、安宅、伏見、嵯峨、柳、檜
 【長沙】堅田
 【宜昌】勢多
 【重慶】比良
 【香港】〆松、榎、杉、柏

【航海中】

大和 (十月十九日横須賀發—測量地へ)
 石廊 (十月二十五日吳發—「タラカン」へ)
 〆鳥羽 (十月二十八日宜昌發—重慶へ)
 代志丸 (十月二十九日小樽發—横須賀へ)
 隠戸 (十月二十九日吳發—「サンペドロ」へ)
 膠州 (十月三十日—三崎發—作業地へ)
 野島 (十月三十一日吳發—長崎へ)
 室戸 (一日吳發—舞鶴へ)
 鶴見 (一日横須賀發—佐世保へ)

海軍公報

第三千三百九號

海軍大臣官房

大正十二年十一月三日(七)

○令 達

官房第三二八〇號ノ二
官房第三二八〇號ニ依リ未卒業ノ儘練習生ヲ免シタル
海軍機關學校第三十五期普通科機關術及第三十六期普
通科電機術練習生ハ海軍機關學校長ノ定ムル時期ニ於
テ教育ヲ再興ス

大正十二年十一月三日

海軍大臣 財 部 彪

○通 牒

大正十二年十月二十九日

海軍省副官 藤田 尙德

各 廳 長 殿

過般ノ震災ニ關シ宮内大臣ヨリ海軍大臣及司法次官ヨ
リ海軍次官宛左記ノ通換抄有之候條御承知相成度
右通知ス

記

拜啓今同ノ大震大火ニ際シテハ急忙ノ際機ヲ逸セ
ス當省ノ爲御助勢被成下幸ニ一段ノ落著ヲ見候事ハ
御厚誼ニ頼ルモノ多キ儀ト感謝ノ至ニ堪ヘス候茲ニ
乍延引右御禮申述度如斯御座候 敬具

大正十二年十月二十七日

宮内大臣子爵 牧野 伸順

海軍大臣財部彪殿

追テ關係事務担当ノ各位ニハ貴官ヨリ可然御傳ヘ
被下度奉希候

司法省行刑局行甲第一六〇八號

大正十二年十月二十七日

司法次官 山内 確三郎

海軍次官岡田啓介殿

拜啓震災ニ因リ横濱地方裁判所、同區裁判所及横濱
刑務所ノ建築材料衛生材料及救護品輸送並横濱刑務
所ノ受刑者移送等ニ付格段ノ御配慮ニ與リ以御蔭右
各所ノ救護並刑務所ノ警備上多大ノ便益ヲ得申候段
忝々奉感謝候右乍略儀以書中御厚禮申述候 敬具

海軍公報 第三千三百九號

大正十二年十一月三日

一〇七七

○ 辭 令

球磨乘組 (各通)	少尉候補生 久場 良雄
球磨乘組	福留 宗之助
球磨乘組	犬塚 忠行
(各通)	菅 芳雄
(各通)	野地 宗助
(各通)	鈴木 重
阿蘇乘組	稻田 洋
球磨乘組	富田 拾造
阿蘇乘組	高須 賀修
球磨乘組	井手 元男
阿蘇乘組	町田 喜久吉
(各通)	深見 虎太郎
(各通)	木梨 應一
龍田乘組	上杉 恒藏
	前田 軍治
	鹿島 竹千代
	長岡 廣吉
	櫻井 太郎
	篠田 幸三
	三木 正彦
	岡本 登良夫
	主計少尉候補生

阿蘇乘組(以上計海軍省)

第一部第一課勤務ヲ命ス(計海軍艦政本部)
海軍技手 柴田 壽正

第五部附ヲ命ス(計海軍艦政本部)
海軍技手 高口 繁道

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第十一潜水隊司令ハ十月三十日司令潜水艦ヲ第二十六潜水艦ヨリ第二十七潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

特務艦大泊宛
自今 小樽郵便局氣付

○電話開通

高輪 三五六番 井上 元 帥
牛込 四六四二番 海軍經理學校

○海外武官宿所變更

英國駐在北川政ハ住所ヲ左記ニ變更セリ
Mrs. Ronald
36 Woodlands Road, Glasgow,
England

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月三日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、滿州、日進、榛名、阿蘇、

鳳翔、口長門、口筑摩、迅鯨、口金剛、

口北上、若宮、口八雲、磐手、淺間

口初春、初雪、春風、藤、薄、口響

有明、如月、神風、吹雪、初霜、浦風、

時雨、夕風、口島風、灘風、秋風、

羽風、口太刀風、帆風、沙風、夕風、

口澤風、矢風、沖風、峯風、口波風、

口野風、沼風

口潛波一、口潛波二、口潛波四、口潛波一〇、

口潛波五七、口潛波四六、口潛波四七、口潛波三〇、

口潛波二九、口潛波二八、口潛波五八

口掃一、掃二、掃三

雉、鷗、鴻

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎、

尻矢、神威、青島、富士、栗橋

【石川島】

驅一二

【横濱】

五十餘

【浦賀】

阿武隈、驅三、驅五、驅六、驅八

【館山】

松江

【大原灣】口葛、萩

【鮫浦灣】口夕立、白露、夕暮、三日月

【大湊】春日

口椿、樺、桑、楳

口潛三八、口潛三九、口潛四〇

【吳】土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歲、

勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、

口球磨、多摩、大井、伊勢、日向、

口矢矧、韓崎、鬼怒

口追風、彌生、卯月、疾風、口浦波、

長月、水無月、磯波、綾波、菊月、

口時津風、磯風、天津風、濱風、口江風、

葵、谷風、菊、口驅一六、驅一八、

口驅一〇、驅四

口潛波三、口潛波四、口潛波五、口潛波六、

口潛波七、口潛波八、口潛波二七、口潛波二五、

口潛波二六、口潛波三七、口潛波三二、口潛波二四、

口潛波二三、口潛波二〇、口潛波三六、口潛波三四、

口潛波三五、口潛波一九、口潛波四四、口潛波四五、

口潛波五

早朝、野間、攝津、劍埼、能登呂

口潛波六九、口潛波七一、口潛波七二、口潛波七三、

口潛波七〇、間宮

【神戶】

【舞鶴】山口山風、海風、榎、檜、驅七

【佐世保】關東 最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬

山口、樺、櫻、橘、野分、白雲、松風、霞、蓮、驅二、蓼、蓬、梨、竹、榎、從、榆、梅、栗、柿

山口、葦、蕨、董、潛一八、潛二二、潛四二、潛四三、潛四一、潛六二、潛六八、潛五九

敷島、知床、襟裳、佐多

【長崎】長崎、川内、野島

【鎮海】桂、楠、楓、梅、潛三一、潛三三、潛三二

【旅順】若葉、潮、朝風、子日

【上海】陰田

【南京】櫻、桃

【漢口】保津、安宅、伏見、嵯峨、柳、檜

【長沙】堅田

【宜昌】勢多

【重慶】比良

【香港】松、楠、杉、柏

【航海中】

大和 (十月十九日横須賀發―測量地へ)

石廊 (十月二十五日吳發―「タラカン」へ)

鳥羽 (十月二十八日宜昌發―重慶へ)

代志丸 (十月二十九日小樽發―横須賀へ)

隱戸 (十月二十九日吳發―「サンペドロ」へ)

膠州 (十月三十日三崎發―作業地へ)

室戸 (一日吳發―舞鶴へ)

鶴見 (一日横須賀發―佐世保へ)

(部内限一頁)

海軍公報

第三千三百十號

海軍大臣官房

大正十二年十一月五日(月)

○令達

官房第三五二八號

海軍機關學校生徒科ヲ海軍兵學校内ニ臨時移設中間科勤務ノ職員ニハ兵學校勤務ノ職員ニ準シ官舎ヲ貸渡スルコトヲ得

大正十二年十一月五日

海軍大臣 財部 陸

○通牒

官房第三五二九號ノ二

大正十二年十一月五日
海軍省副官 藤田 尙徳

海軍省副官

海軍省副官 藤田 尙徳

本件ニ關シ左記ノ通遞信次官ヨリ海軍次官宛通牒有之候條御了知相成度
右依命申進ス
No. 3528
H. O. Kawan

記

郵第五一八〇號 通牒

大正十二年十一月二日

海軍次官 財部 陸

今次ノ大震災ニヨリ當省並ニ印刷局焼失ノ結果郵便切手及葉書ノ貯藏ヲ失ヒタルノミナラス之レカ印刷亦從前ノ如クチラサル實情ニ有之旁々例年實施シ來シ年賀郵便特別取扱ノ制度ヲ休止シ此際一般ニ對シ年賀郵便交換ノ廢止ヲ獎勵致度ニ付テハ貴廳管下ニ對シテモ洩レナク之レカ趣意徹底勵行方御配意相煩度得貴意候

官房第三五二三號ノ三

大正十二年十一月五日

消滅

海軍公報 第三千三百十號 大正十二年十一月五日

二〇八一

2347

練習艦隊（八雲、磐手、淺間）ト内地郵便局間ニ閉塞交換開始相成候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

大正十二年十一月五日

海軍省副官 藤田 尚徳

記

- 一、信書屑書ハ「長崎郵便局氣付」トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

令

○大正十二年十一月一日

任海軍書記 勳八等 森井 民三
給月俸七拾圓

海軍書記 森井 民三
 湊海軍病院附ヲ命ス（十一月海軍省）
 海軍技手 柴田 壽正
 米國へ出張ヲ命ス 海軍技手 山崎 豊
 歸朝ヲ命ス（以上十一月海軍省）

○雜款

○司令潜水艦變更

第十五潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第三十七潜水艦ヨリ第二十二潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦五十鈴宛

自今

横須賀

○試験問題發送

第三十三期普通科經理術練習生採用試験問題十一月一日全部發送済、未著ノ節ハ至急通知アリタシ、試験ハ十一月二十日、二十一日ノ兩日ナリ（海軍經理學校）

○宿所變更

米國駐在海軍機關大尉久保田芳雄ハ宿所ヲ左記ニ變更セリ

Mrs. R. C. Kehew

70 Bay State Road, Boston, Mass.

U. S. A.

○取消

一昨三日本欄特務艦大泊宛郵便物發送先ハ掲載誤ニ付取消ス

○艦船所在

（印）（ハ）（ホ）
指定要ス

○十一月五日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、滿州、日進、榛名、阿蘇、

鳳翔、口長門、口筑摩、迅鯨、口金剛、

口北上、若宮、口八雲、磐手、淺間、

口初春、初雪、春風、藤、薄、口響、

有明、如月、神風、吹雪、初霜、

口夕立、白露、夕暮、三日月、浦風、

時雨、夕風、口島風、灘風、秋風、

羽風、口太刀風、帆風、汐風、夕風、

口澤風、矢風、沖風、峯風、口波風、

驅一、野風、沼風、

潛波一、潛波二、口潛一四、潛波一〇、

口潛五七、潛四六、潛四七、口潛三〇、

口潛二九、潛二八、潛五八、

口掃一、掃二、掃三、

雄、鷗、鴻、

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎、

神威、青島、富士、栗橋、代志、

【石川島】

驅一二

【横濱】

五十鈴

【浦賀】

阿武隈、驅三、驅五

【館山】

驅六、驅八

【大原灣】

口葛、萩

【大湊】

春日

【吳】

口椿、櫻、桑、楨

【土佐】

口潛三八、潛三九、潛四〇

【山口】

勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、

【球磨】

多摩、大井、伊勢、日向、

【矢矧】

韓崎、鬼怒

【追風】

彌生、卯月、疾風、口浦波、

【長月】

水無月、磯波、綾波、菊月、

【時津風】

磯風、天津風、濱風、口江風、

【葵】

谷風、菊、口驅一六、驅一八、

【驅一〇】

驅四

【驅三】

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、

【驅七】

潛波七、潛波八、口潛二七、潛二五、

【驅二六】

口潛二二、潛三七、潛二四、

【驅二三】

口潛三〇、口潛三六、潛三四、

【驅三五】

潛一九、潛四四、潛四五、

【驅五】

早鞆、野間、攝津、劍崎、能登呂

【大阪】

尻矢

【神戶】

潛六九、潛七一、潛七二、潛七三、

【神戶】

潛七〇

海軍公報 第三千三百十號 大正十二年十一月五日

一〇八三

【舞鶴】巨山風、海風、榎、檜、驅七

【佐世保】最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬、口桐、樺、櫻、橘、野分、白雪、松風、霞、口進、驅二、蓼、蓬、口梨、竹、榎、樺、口榆、梅、栗、柿、口菱、葉、蕨、董

【長崎】長崎、川内、敷島、知床、襟裳、野島、口潜三、口潜二、口潜四、口潜一、口潜六、口潜八、口潜九

【鎮海】口潜三、口潜三、口潜三

【城津】巨桂、旅順、若葉、潮、朝風、子日

【上海】巨樫、桃、南京、巨樫、保津、安宅、嵯峨、漢口、柳、檜

【長沙】堅田、宜昌、彭多、重慶、比良

【香港】巨松、榎、杉、柏、【タウカン】石廊

【航海中】

大和 (十月十九日横須賀發—測量地)
鳥羽 (十月二十八日宜昌發—重慶)
隱戸 (十月二十九日興發—「サンペ」)
膠州 (十月三十日十三崎發—作業地)
鷗見 (一日横須賀發—佐世保)
伏見 (三日漢口發—上海)
佐多 (三日佐世保發—大湊)
關東 (四日舞鶴發—大湊)

(部内限一頁)

海軍公報 第三千三百一十一號

大正十二年十一月六日(火)
海軍大臣官房

○通牒

機校第三九號

大正十二年十一月五日

海軍機關學校長 池田岩三郎

各鎮守府司令長官殿

練習生練習再興ノ件

官房第三一八〇號ノニニ依リ擬ニ罷免セシ本校第三十五期普通科機術練習生及第三十六期普通科電機術練習生ハ左記ニ依リ練習再興致スヘク候
右通知ス

記

復校期日

大正十三年一月十五日

始業期日

大正十三年一月十六日

機校第一〇號ノ六

海軍公報 第三千三百一十一號 大正十二年十一月六日

二〇八五

大正十二年十一月五日
海軍機關學校長 池田岩三郎
各鎮守府司令長官殿
練習生採用ノ件

左記ニ依リ本校練習生ヲ採用ス

種別	員數			進級停年計算期日	特技章授與後ノ日數計算期日	候補者選出期限
	横須賀	吳	佐世保			
第三十五期高等科機術練習生	三〇	三五	三五	大正十二年十月三十一日	大正十二年十一月十日	大正十二年十一月三十日
第二期高等科電機術練習生	一一	一三	一一	大正十二年十月三十一日	大正十二年十一月十日	大正十二年十一月三十日
第三十六期普通科機術練習生	六〇	六〇	六〇	大正十二年十月三十一日	大正十二年十一月十日	大正十二年十一月三十日
第三期普通科電機術練習生	四〇	四〇	四〇	大正十二年十月三十一日	大正十二年十一月十日	大正十二年十一月三十日

採用試驗豫定期日	大正十三年二月十五日
所見表到達期限	大正十二年十二月三十一日 大正十三年二月二十九日
入校豫定期日	大正十三年一月十五日 大正十三年三月十七日

右通知ス

○ 辭 令

第六驅逐艦長

海軍少佐 若木 元次
 海軍大尉 久宗 米次郎
 海軍中尉 市坪 正雄
 同 清水 利夫
 海軍機關大尉 木村 隆一郎
 海軍軍醫少尉 中島 幸三
 海軍主計少尉 奥坂 九藏

(各通)

第六驅逐艦乘組(以上計海軍省)

海軍少將 山内 四郎
 同 田尻 唯二
 同 小松 直幹

馬公要港部司令官

霞ヶ浦海軍航空隊司令兼海軍艦政本部技術會議議長
 同 長澤 南太郎
 吳鎮守府參謀長 同 中村 良三

第一水雷戰隊司令官心得

海軍太佐 中村 良三

○ 雜 款

第二艦隊參謀長 同 安東 昌喬
 霧島艦長 同 坂元 貞二
 大湊要港部參謀長心得 海軍中佐 小森 吉助
 同 山口 清七
 松江特務艦長(以上計海軍省)

○ 郵便物發送先

軍艦春日宛 十一月十一日迄ニ到着見込ノモノハ 大 横須賀
 同 二十五日迄ニ 同 大 横須賀
 其ノ後ハ

第六驅逐艦宛

十一月十一日迄ニ到着見込ノモノハ 大 阪築港
 其ノ後ハ 吳

特務艦高階宛

十一月 八日迄ニ到着見込ノモノハ 横 須賀
 同 十三日迄ニ 同 神 戶
 同 十七日迄ニ 同 吳
 同 二十二日迄ニ 同 德 山
 同 二十七日迄ニ 同 佐 世
 同 十二月 七日迄ニ 同 馬 公

同	十日迄ニ同	高
同	二十日迄ニ同	佐世保
同	二十三日迄ニ同	西戸崎
同	二十六日迄ニ同	吳
其ノ後ハ		横須賀

○事務所撤去

浦賀船渠株式會社浦賀工場内ニ設置中ノ本艦機裝員事務所ハ十一月五日限り撤去セリ(第六驅逐艦機裝員長)

○出發

英國駐在ヲ命セラレタル海軍造機大尉近藤市郎ハ來ル十一月二十二日横濱出港ノ香取丸ニテ出發ノ豫定

○滯在地變更

海軍中尉青山慶三ハ佐世保ヨリ吳へ滯在地變更ノ儀十一月二日認許セラレタリ

海軍少尉正八位齋藤勳本月一日福島縣相馬郡中村町中野字寺前十二番地自宅ニ於テ死去セリ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○十一月六日午前十時調

【横須賀】 加賀、千早、蒲州、日進、阿蘇、

鳳翔、口長門、筑摩、迅鯨、口金剛、

北上、若宮、八雲、碧手、濤間、

初春、初雪、春風、口響、有明、

如月、神風、吹雪、初霜、口夕立、

白露、夕暮、三日月、口葛、萩、藤、

薄、矢風、浦風、時雨、夕風、口島風、

灘風、秋風、羽風、口太刀風、帆風、

汐風、夕風、口澤風、沖風、松風、

口波風、口野風、口沼風、

口波一、口波二、口波三、口波四、口波五、

口波六、口波七、口波八、口波九、

口波一〇、口波一一、口波一二、

口波一三、口波一四、口波一五、

口波一六、口波一七、口波一八、

口波一九、口波二〇、口波二一、

口波二二、口波二三、口波二四、

口波二五、口波二六、口波二七、

口波二八、口波二九、口波三〇、

口波三一、口波三二、口波三三、

口波三四、口波三五、口波三六、

口波三七、口波三八、口波三九、

口波四〇、口波四一、口波四二、

口波四三、口波四四、口波四五、

口波四六、口波四七、口波四八、

口波四九、口波五〇、口波五一、

口波五二、口波五三、口波五四、

口波五五、口波五六、口波五七、

口波五八、口波五九、口波六〇、

口波六一、口波六二、口波六三、

口波六四、口波六五、口波六六、

口波六七、口波六八、口波六九、

口波七〇、口波七一、口波七二、

口波七三、口波七四、口波七五、

口波七六、口波七七、口波七八、

口波七九、口波八〇、口波八一、

口波八二、口波八三、口波八四、

口波八五、口波八六、口波八七、

口波八八、口波八九、口波九〇、

【館山】

駒六、駒八
松名
松江

【大湊】

春日
口椿、櫻、桑、楨
口潜三八、口潜三九、口潜四〇

【吳】

土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歳、
勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、
球磨、多摩、大井、伊勢、日向、
矢矧、韓崎、鬼怒

追風、彌生、卯月、疾風、口浦波、
長月、水無月、磯波、綾波、口菊月、
時津風、磯風、天津風、濱風、口江風、
葵、谷風、菊、口駒一六、駒一八、
駒一〇、駒四

口波一〇、口波一一、口波一二、
口波一三、口波一四、口波一五、
口波一六、口波一七、口波一八、
口波一九、口波二〇、口波二一、
口波二二、口波二三、口波二四、
口波二五、口波二六、口波二七、
口波二八、口波二九、口波三〇、
口波三一、口波三二、口波三三、
口波三四、口波三五、口波三六、
口波三七、口波三八、口波三九、
口波四〇、口波四一、口波四二、
口波四三、口波四四、口波四五、
口波四六、口波四七、口波四八、
口波四九、口波五〇、口波五一、
口波五二、口波五三、口波五四、
口波五五、口波五六、口波五七、
口波五八、口波五九、口波六〇、
口波六一、口波六二、口波六三、
口波六四、口波六五、口波六六、
口波六七、口波六八、口波六九、
口波七〇、口波七一、口波七二、
口波七三、口波七四、口波七五、
口波七六、口波七七、口波七八、
口波七九、口波八〇、口波八一、
口波八二、口波八三、口波八四、
口波八五、口波八六、口波八七、
口波八八、口波八九、口波九〇、
口波九一、口波九二、口波九三、
口波九四、口波九五、口波九六、
口波九七、口波九八、口波九九、
口波一〇〇

早瀬、野間、攝津、劍崎、能登呂

尻矢
口潜六九、口潜七一、口潜七二、口潜七三、
口潜七〇

【大阪】

【神戶】

【石川島】 駒一二

【横濱】 五十鈴
口駒三、駒五

【浦賀】 阿武隈

青島、富士、代志丸

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎、

雄、鷗、鴻

阿武隈

【舞鶴】山風、海風、板、檜、錨七
 室戸
 【佐世保】最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬、桐、樺、櫻、橘、野分、白雪、松風、霞、蓮、蓼、蓬、梨、竹、桐、樺、椴、楡、梅、栗、柿、菱、葦、蕨、董
 潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、潜四一、潜六二、潜六八、潜五九、敷島、知床、襟裳、野島、鶴見、長崎、川内、楠、楓、梅
 潜三一、潜三三、潜三二
 【旅順】若葉、潮、朝風、子日
 【上海】柳、檜、安宅、健賊
 【南京】保津、桃
 【漢口】柳、檜、安宅、健賊
 【長沙】壁田
 【宜昌】勢多
 【涪州】鳥羽
 【重慶】比良

【タラカン】石廊

【航海中】

大和 (十月十九日横須賀發—測量地へ)
 隱戸 (十月二十九日吳發—「ツンベド」へ)
 膠州 (十月三十日—三崎發—作業地へ)
 伏見 (三日漢口發—上海へ)
 佐多 (三日佐世保發—「カノル」へ)
 關東 (四日舞鶴發—大湊へ)
 松、樺、杉、柏 (五日香港發—廣東へ)
 桂 (五日城津發—鎮海へ)
 神威 (五日横須賀發—桑港へ)

海軍公報 第三千三百十一號 大正十二年十一月六日 (部内限二頁) 一〇八九

海軍公報

第三千三百十二號

海軍大臣官房

大正十二年十一月七日(水)

○ 令 達

官房第三五五五號

大正十二年十一月七日

廢止

毎年十二月入團ノ四等兵ニハ必要ニ應ジ翌年三月三十一日迄大正十年官房第三三三八號ニ依ル兵胴衣ニ代ヘ毛織襦袢壹個ヲ貸與スルコトヲ得

大正十二年十一月七日

海軍大臣 財 部 彪

官房第三五五六號

大正十二年度ニ於テ採用スヘキ海軍航空隊高等科航空工術練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十二年十一月七日

海軍大臣 財 部 彪

海軍公報 第三千三百十二號 大正十二年十一月七日

二〇九一

所管	種 別	員 數	採用期日
横須賀 鎮守府	飛行機各機ノ取扱者タルヘキ者 航空機用機關ノ取扱者タルヘキ者	七	大正十二年 十二月上旬
佐世保 鎮守府	兵科、機關科 飛行機各機ノ取扱者タルヘキ者 航空機用機關ノ取扱者タルヘキ者	三	
一、選拔標準			
<p>今期ニ限リ海軍航空隊練習部規則第十四條該當者ノ外同條一號、二號及左記各號該當者ヲモ採用ス</p> <p>(イ) 最近一年六ヶ月以上航空勤務ニ服シ内六ヶ月ハ臨時海軍航空術講習部ニ於テ飛行機各機又ハ航空機用機關ノ整備ニ從事シタルモ</p> <p>(ロ) 一ヶ年以上海軍航空隊又ハ航空母艦ニ在リテ飛行機各機又ハ航空機用機關ノ整備ニ從事シ特ニ優秀ナル性能學力ヲ有シ海軍所定ノ特技章ヲ有スルモノ</p> <p>二、教育豫定期間 四ヶ月</p>			

2356

○通牒

軍需第六號九三三

大正十二年十一月七日

海軍省軍需局長 中里 重次
海軍艦政本部長 男爵 安保 清種

各軍需部長
各工廠長
各工作部長 殿

水雷關係壓力計配給方針ノ件
爾今本件ハ左記標準ニ依リ處理相成度
右通牒ス

記

用途	配給スヘキ壓力計ノ種類
潜水艦及空氣壓搾唧筒空氣用	二號 (小型)
五十三種二聯裝水上發射管(十年式)以降ノ發射管用(八年式發射管ヲ除ク)	三號 (艇二重壓力指示ノモノ)
前記以外ノ空氣用	一號 (大型)
空氣壓搾唧筒蒸汽用	蒸汽用
水壓及油壓用	大正十年七月二十二日附艦本第五七五九號通牒ニ依リ封度併用目盛ノモノ

○辭令

○大正十二年十一月五日

任海軍屬 海軍書記勳七等 諸田 峰松

給四級俸 海軍書記勳八等 田中 芳藏

任海軍屬 給五級俸 海軍書記勳七等 近藤 清

任海軍書記 給四級俸 海軍屬勳八等 兒島 綱彦

任海軍書記 給五級俸 海軍編修書記 寺田 胤之

給六級俸

海軍省經理局附ヲ命ス 海軍屬 諸田 峰松

海軍大臣官房附ヲ命ス 海軍屬 田中 芳藏

(各通) 海軍書記 近藤 清

海軍軍令部附ヲ命ス 海軍書記 兒島 綱彦

海軍省教育局附ヲ命ス 海軍編修書記 寺田 胤之

(各通) 海軍書記 諸田 峰松

歸朝ヲ命ス 海軍書記 寺田 胤之

米國へ出張ヲ命ス 海軍書記 近藤 清
 英國へ出張ヲ命ス(以上計一月海軍省) 海軍書記 兒島 綱彦
 第三課勤務ヲ命ス(計一月海軍省教育局) 海軍大尉 大西 瀧治郎
 第一部第二課附ヲ命ス 海軍特務少尉 伊藤 辰也
 第五部附ヲ命ス 海軍機關特務中尉 根本 繁樹
 總務部第一課附ヲ命ス(以上計一月海軍艦政本部) 海軍主計兵曹長 半田 喜市
 兼第三部勤務ヲ命ス(計一月海軍艦政本部) 海軍機關少佐 平岡 磯

○雜款

○郵便物發送先
 特務艦大泊宛
 十一月九日迄ニ到着見込ノモノハ 横須賀
 同 十四日迄ニ 同 大 湊
 其ノ後ハ 小 樽

○特務艦高橋行動豫定變更(十月二十五日)
 (本欄参照)

地名	著	發
横須賀	十一月十日	十一月八日
神戶	十一月十五日	十一月十四日
吳山	十一月十八日	十一月十八日
德保	十二月二日	十二月二十八日
馬公	十二月八日	十二月八日
高隆	十二月十二日	十二月十一日
基屋	十二月十五日	十二月十三日
古保	十二月十八日	十二月十六日
佐世	十二月二十日	十二月二十日
西崎	十二月二十五日	十二月二十四日
吳須賀	十二月二十九日	十二月二十七日

休職海軍技手高橋儀一郎去月二十八日死去セリ

海軍公報 第三千三百三十二號 大正十二年十一月七日

一〇九三

○ 艦船所在

△印△△△△
指定ヲ要セス

○十一月七日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、滿州、日進、五十鈴、
鳳翔、口長門、口筑摩、迅鯨、口金剛、

▷北上、若宮、▷八雲、磐手、淺間、
▷初春、初雪、春風、▷響、有明、

如月、神風、吹雪、初霜、▷夕立、
白露、夕暮、三日月、▷葛、萩、藤、

薄、▷驅三、驅五、矢風、浦風、時雨、
夕風、驅六、▷島風、灘風、秋風、

羽風、▷太刀風、帆風、沙風、夕風、
▷澤風、沖風、峯風、▷波風、驅一、

野風、沼風、
潛波一、潛波二、▷潛一四、潛波一〇、

▷潛五七、潛四六、潛四七、▷潛三〇、
▷潛二九、潛二八、潛五八

▷掃一、掃二、掃三

雄、鷗、鴻

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎、

青島、富士、大和

【石川島】

驅二二
阿武隈
驅八

【館山】

松江
春日

▷椿、櫻、桑、檜
▷潛三八、潛三九、潛四〇

【吳】

關東
土佐、山城、扶桑、平戶、淀、千歲、
勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、

▷球磨、多摩、大井、伊勢、日向、
▷矢矧、韓崎、鬼怒

▷追風、彌生、卯月、疾風、▷浦波、
長月、水無月、磯波、綾波、菊月、

▷時津風、磯風、天津風、濱風、▷江風、
葵、谷風、菊、▷驅一六、驅一八、

▷驅一〇、驅四

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、
潛波七、潛波八、▷潛二七、潛二五、

▷潛二六、▷潛三三、潛三七、潛二四、
▷潛二三、潛二〇、▷潛三六、潛三四、

▷潛三五、潛一九、▷潛四四、潛四五、
潛五一

早鞆、野間、攝津、劍崎、能登呂

【神戶】

間宮
潛六九、潛七一、潛七二、潛七三、
潛七〇

【舞鶴】

▷山風、海風、榎、檜、驅七

【佐世保】 最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、由良、名取、長良、霧島、比叡、對馬、
松風、霞、蓮、野分、白雲、
竹、榎、樺、檜、梅、栗、柿、
菱、葦、蕨、重、
潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、
潜四一、潜六二、潜六八、潜五九、
敷島、知床、襟裳、野島、鶴見

【長崎】 長鯨、川内、
【領海】 桂、楠、楓、梅、
潜三一、潜三三、潜三二

【大連】 若葉、潮、朝風、子日、
【上海】 隅田、
【漢口】 保津、安宅、鯨娥、
【長沙】 堅田、
【宜昌】 勢多、
【瀋州】 鳥羽、
【重慶】 比良、
【タラカン】 石廊

【航海中】

恩月（十月二十九日吳發「サンペドロ」へ）

膠州（十月三十日—三階發—作業地へ）
伏見（三日漢口發—上海へ）
松、榎、杉、柏（五日香港發—廣東へ）
神威（五日横須賀發—桑港へ）
尻矢（五日大阪發—横須賀へ）
櫻、桃（六日南京發—上海へ）
柳、檜（六日漢口發—上海へ）
室戸（六日舞鶴發—徳山へ）
佐多（六日横須賀發—「ホルル」へ）
榛名、阿蘇（七日館山發）

海軍公報 第三千三百十二號 大正十二年十一月七日 (部内限ナシ) 一〇九五

海軍公報

第三千三百十三號

大正十二年十一月八日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三〇五四號ノ九

左記各號ノ震災地ニ在勤シ又ハ該地ニ家族ヲ居住セシムル者ノ俸給、給料、報酬金又ハ賃錢ハ大正十二年十一月分ニ在リテハ當月十二日ニ繰上ケ支給スルコトヲ得但シ職工及常備人夫ノ賃錢ハ十六日分ヲ限トス

一、東京府下ニ在勤スル軍人、軍屬、囑託員、職工及常備人夫

二、東京府下ニ家族ヲ居住セシムル軍人、軍屬及囑託員

三、神奈川、千葉及静岡各縣下ニ在勤スル軍人、軍屬、囑託員、職工及常備人夫

四、神奈川縣下ニ家族ヲ居住セシムル軍人、軍屬及囑託員

前項第二號ニ該當スル者ノ俸給、給料及報酬金ハ海軍省經理局ニ於テ第四號ニ該當スル者ノ俸給、給料及報酬金ハ横須賀海軍經理部ニ於テ支給スヘシ但シ作業會計ノ支辨ニ屬スルモノヲ除ク

前項ノ支給ヲ爲シタルトキハ海軍省經理局又ハ横須賀海軍經理部ハ之ヲ本人所轄廳ニ通報シ所轄廳ハ其ノ支拂ニ過不足拂等ヲ生シタルトキハ其ノ廳ニ於テ整理ノ手續ヲ爲スヘシ

大正十二年十一月八日

海軍大臣 財 部 彪

○通 牒

官房第三五七九號

大正十二年十一月八日

海軍省副官 藤 田 尙 徳

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

海軍公報 第三千三百十三號 大正十二年十一月八日

一〇九七

許可番號	第一〇〇號
住所	神戸市播磨町十七番地
氏名又ハ名稱	共同漁業株式會社
船名	能代丸
操業區域	東海及黃海
漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎
許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年
制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 二、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
許可年月日	大正十二年十一月一日

○ 聯 令	
保津艦長	海軍少佐 野口 幸一
	海軍少尉 岡 友三郎
	海軍機關中尉 田中 重雄
	海軍軍醫中尉 吉田 武尚
(各通)	

○ 雜 款	
保津乘組	海軍主計中尉 佐野川 要
	海軍中佐 稻上 信壯
	海軍技師 鈴木 謙二
(各通)	
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上註月海軍省)	
○ 郵便物發送先	
第十四驅逐隊、江風、谷風、葵、菊苑	大阪築港
十一月十二日迄ニ到着見込ノモノハ	吳
其ノ後ハ	
第四十五潜水艦宛	佐世保
自今	
特務艦大和宛	吳
自今	
○ 滞在地變更	
海軍機關大尉寺山榮ハ横須賀ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀十一月五日認許セラレタリ	

○艦船所存

相定又明カス

○十一月八日午前十時嗣

【横須賀】

加賀、千早、瀧州、日進、五十鈴

鳳翔、長門、筑摩、迅鯨、金剛

北土、若宮

初春、初雪、春風、響、有明

如月、神風、吹雪、初霜、夕立

白露、夕暮、三日月、葛、夕立

驅五、矢風、浦風、時雨、夕風、驅六

島風、灘風、秋風、羽風、太刀風

帆風、沙風、夕風、澤風、沖風

峯風、波風、驅一、野風、沼風

潛波一、潛波二、潛一四、潛波一〇

潛五七、潛四六、潛四七、潛三〇

潛二九、潛二八、潛五八

掃一、掃二、掃三

雉、鷗、瀧

朝日、洲崎、鳴戸、武藏、大泊、高崎

青島、富士、大和、膠州、尻矢

【石川島】

驅一二

【浦賀】

驅八

【館山】

榛名、阿蘇

【大湊】

松江

椿、樺、桑、檜

關東 潛三八、潛三九、潛四〇

【吳】

土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歲

勝力、木曾、明石、天龍、駒橋

球磨、多摩、大井、伊勢、日向

矢矧、韓崎、鬼怒

追風、彌生、卯月、疾風、浦波

長月、水無月、磯波、綾波、菊月

時津風、磯風、天津風、濱風、江風

葵、谷風、菊、驅一六、驅一八

驅一〇、驅四

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六

潛波七、潛波八、潛二七、潛二五

潛二六、潛三三、潛三七、潛三四

潛三三、潛三〇、潛三六、潛三四

潛三五、潛一九、潛四四、潛四五

潛五

早翔、野間、攝津、劍崎、能登呂

【神戶】

開宮 潛六九、潛七一、潛七二、潛七三

【舞鶴】

山風、海風、榎、楢、驅七

【佐世保】

最上、宇治、出雲、吾妻、利根、

夕張、常磐、龍田、陸奥、由良、

名取、長良、霧島、比叡、對馬

松風、榎、櫻、橘、野分、白雪、

竹、樫、榎、驅二、蓼、蓬、梨、

菱、葎、蕨、董、

潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、

潜四一、潜六二、潜六八、潜五九

敷島、知床、襟裳、野島、鶴見

長崎、長鯨、川内

鎮海、桂、楠、楓、梅

大連、若葉、潮、朝風、子日

上海、隅田

漢口、保津、安宅

長沙、堅田

宜昌、鳥羽、勢多

重慶、比良

廣東、松、榊、杉、柏

石廊

【航海中】

隱月 (十月二十九日吳發)「サンペドロ」()

伏見 (三日漢口發—上海)

神威 (五日橫須賀發—桑港)

樫、桃 (六日南京發—上海)

柳、檜 (六日漢口發—上海)

室戸 (六日舞鶴發—徳山)

佐多 (六日橫須賀發—「ホルル」)

嵯峨 (七日漢口發—南京)

八雲、磐手、淺間 (七日橫須賀發—上海)

藤、薄 (七日橫須賀發—館山)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千三百十四號

海軍大臣官房

大正十二年十一月九日(金)

○通牒

官房第三五九五號

大正十二年十一月九日

海軍省副官 藤田 尙 徳

在京各廳長殿

觀菊會ノ件

本年觀菊會ハ御催不被爲在旨被仰出候條
右爲念通知ス

官房第三五九六號

大正十二年官房三〇一ノテ佐多、龍見ノミ宛止
大正十一年官房七〇ノテ、神威自記、消滅

特務總神威、佐多及鶴見ト内地郵便局間ニ郵便物閉塞
交換開始相成候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御
取計相成度

大正十二年十一月九日

海軍省副官 藤田 尙 徳

記

海軍公報 第三千三百十四號

大正十二年十一月九日

二〇一

- 一、信書肩書ハ「横濱郵便局氣付」トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱替スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スル

海人第九〇號

大正十二年十一月九日

海軍省人事局

各廳御中

位記並年金證書、勳記及證狀等燒失ニ
關スル件

今回ノ震火災ニ付位記並年金證書、勳記及證狀等燒失
又ハ亡失ノ爲再下附ヲ要スル向ハ別紙様式ニ依リ書籍
作成直接夫々關係官廳へ提出相成度
右申進ス

(別紙様式)

位記證狀下附願

(別紙英漢白紙)

本籍地 何府縣那市町村何番地

受賞當時ノ肩書 氏 名

年月日 (職位年月日不明ノ儘) 彼何位
年月日 (同) 彼何位

右何年何月何日何々ニ於テ火災ニ罹リ燒失致候間位記
賞狀下附相成度別紙證明書相添ヘ此段奉願候也

年月日

現住所

氏 名

宮内大臣子爵 牧野伸顯殿

注意 一、直接宮内省式部職ヘ提出ノコト
二、證明ハ市、區、町、村長又ハ警察署

年金證書燒失ニ付御届

本籍地 何府縣那市町村何番地

現住地 同

受賞當時ノ肩書

海軍年金受給者 何 某

一、年金ノ種類 金鵄勳章 年金

又ハ旭日勳章 年金

一、證書ノ番號 第 (勳記番號又ハ受賞年月日) (又ハ受賞年月日) 不明ノ向ハ未記載ノ儘

一、年金ノ額 何 百 圓

一、亡失ノ理由 何年何月何日火災家屋全燒ノ際燒失
右及御届候也

年月日

貯金局 御申

右 何 某

注意 支給郵便局又ハ直接麻布區富士見町統計局内貯金局ヘ
差出スロト

有功
有勳
有章

證明書下附願 (用紙美濃口紙)

本籍地 何府縣那市町村何番地

受賞當時ノ肩書 氏 名

何々勳章勳記 第 (勳記番號又ハ受賞年月日) (又ハ受賞年月日) 不明ノ向ハ未記載ノ儘

何々章證狀 第 (又ハ受賞年月日) 號 (證狀番號又ハ以下同シ)

右何年何月何日何々ニ於テ火災ニ罹リ燒失致候間有勳
(有章) 證狀下附相成度別紙證明書相添ヘ此段奉願候
也

年月日

現住所

氏 名

賞勳局總裁子爵 仙石政敬殿

2366

注意 一、直接貸助局へ提出ノコト
 一、證明ハ市、區、町、村長又ハ警察署
 備考 勸導師 下谷區茅町二ノ二四 野村洋三
 下谷區上根岸町八番地 並河靖之

海入第九一號

大正十二年十一月九日

海軍省人事局長 山梨勝之進

關係各廳長殿

左記ノ通り照會有之候ニ付本月末日迄ニ取纏メ報告相成度又既ニ事蹟ハ報告済ナルモ經歷記入ナキ者ハ更ニ提出相成度
 右依命申進ス

肅啓今般ノ震火災ニ際シ御管内ニテ犠性的精神ヲ發揮シ模範トスルニ足ル程ノ顯著ナル功績ヲ示シタル者有之候ハハ御多用中恐縮ニ候ヘトモ其人ノ經歷及事蹟ノ大要御通知ニ預リ度不取敢右御依頼ニ及ヒ候 敬具

大正十二年十月二十七日

震災同情會會長 公爵 徳川 家達

海軍大臣 財部彪殿

○ 辭 令

第一課附ヲ命ス(註)海軍省教育局 寺田 胤之

海軍特務中尉 星 菊三郎

海軍特務少尉 久芳 五平

(各通) 同 伊藤 辰也

第一課勤務ヲ命ス(註)海軍省軍需局 山岡 榮次郎

○ 雜 款

○事務開始

横須賀海兵團舞鶴練習部ハ本月三日ヨリ舊舞鶴海兵團跡ニ於テ事務ヲ開始ス

海軍省報 第三千三百十四號 大正十二年十一月九日

11011

○艦船所在

（印）ハニハカフ
指定ヲ要セス

○十一月九日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、潮州、日進、五十鈴、

【大湊】

春日、椿、樺、桑、楨、

【青森】

關東、

【吳】

土佐、山城、扶桑、平戸、淀、千歲、

【神戶】

間宮、

【多度津】

江風、葵、谷風、菊、

【徳山】

室戸、

【舞鶴】

山風、海風、榎、檜、

【石川島】

朝日、洲埼、鳴戸、大泊、青島、富士、

【浦賀】

阿武隈、

【阿武隈】

阿武隈、

【阿武隈】

阿武隈、

【佐世保】最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、龍田、陸奥、名取、由良、長良、霧島、比叡、對馬、
 桐、樺、櫻、橘、野分、白雪、松風、霞、遊、二、蓼、蓬、梨、竹、榎、樅、檜、榆、梅、栗、柿、
 菱、葦、蕨、董、
 潜一八、潜二二、潜四二、潜四三、
 潜四一、潜六二、潜六八、潜五九、
 敷島、知床、襟裳、野島、鶴見、
 【長】長崎、川内、
 【鎮】桂、楠、梅、
 潜三一、潜三三、潜三二、
 【旅】順、若葉、潮、朝風、子日、
 【上】海、
 榎、桃、
 【漢】口、保津、安宅、
 【長】沙、堅田、
 【宜】昌、鳥羽、勢多、
 【重】慶、比良、
 【廣】東、松、榎、杉、柏、
 【タラカン】石廊、

【航海中】

隠戸 (十月二十九日吳發「サンペドロ」)
 神威 (五日横須賀發「桑港」)
 柳、檜 (六日漢口發「上海」)
 佐多 (六日横須賀發「ホルル」)
 薩峨 (七日漢口發「南京」)
 八雲、磐手、淺間 (七日横須賀發「上海」)
 楓 (八日鎮海發「佐世保」)
 驅六 (八日横須賀發「大阪」)
 潜四五 (八日吳發「佐世保」)
 武藏 (八日横須賀發「測地」)
 高崎 (八日横須賀發「神戸」)

海軍公報 第三千三百十四號 大正十二年十一月九日 (部内限二頁) 一一〇五

海軍公報

第三千三百十五號

大正十二年十一月十日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第三二八八號ノ二

大正十二年十月官房第三二八八號ノ規定ハ大正十二年十一月一日ヨリ同月末日ニ至ル給與ニ付之ヲ適用ス

大正十二年十一月十日

海軍大臣 財部 彪

○通牒

経像第四五六號

大正十二年十一月十日

海軍省経理局長 深水 貞吉

練習生入校旅費ノ件

官房第三二八〇號ニ依リ未卒業ノ儘學生、練習生ヲ免セラレタルモノニシテ教育再興ノ爲本年度内復歸スル場合ニ要スル旅費ハ震災應急費(款)應急施設費(項)

事務費(目)ヨリ支出スル儀ト御承知相成度
右通知ス

経調第三六三號ノ四

大正十二年十一月十日

海軍省経理局

各關係御中

證明書類提出方ノ件

十月十三日附経調第三六三號ノ二(海軍公報掲載)ヲ以テ通知致置キ候會計検査院へ再提出スヘキ計算書ノ中十年度ノ分ハ特ニ至急提出相成度
右通知ス

○辭令

海軍技手 野田 他人三
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ吳海軍工廠
附ヲ命ス

海軍公報 第三千三百十五號 大正十二年十一月十日

一一〇七

2370

海軍機關少佐 工藤 重治郎
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ舞鶴要港部
附ヲ命ス(以上計海軍省)

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(計海軍省)
海軍機關少佐 上田 年夫

第四部附ヲ命ス(計海軍艦政本部)
海軍中佐 前原 謙治
兼第一部第二課勤務ヲ免ス(計海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 正誤
昨九日通牒欄海人第九〇號中 位記證狀下付願提出注
意中 宮内省式部職トアルハ 宗秋寮ノ誤

○ 旗艦變更
第五戰隊司令官ハ十月三十日旗艦ヲ由良ヨリ名取ニ變
更ス(第二艦隊司令官)

○ 郵便物發送先
第十五驅逐隊及驅逐艦爲、萩、藤、蕨宛
十一月十七日迄ニ到着見込ノモノハ 横須賀

同 二十日迄ニ同
其ノ後ハ 大 阪
特務艦膠州宛 吳
十一月十日以後 横須賀
同 二十四日以後
淡海軍病院宛 直接送付ノコト
自今

○ 軍艦明石行動豫定

地名	著	發
吳	十一月二十六日	十一月十九日
ヤツブ	十二月六日	十二月一日
バラオ	十二月十二日	十二月五日
アンガウル	二十三日	十一月九日
バラオ	二十三日	十一月九日
ヤツブ	二十三日	十一月九日
トラツク	二月六日	二月十四日
ボカベ	二十日	二月十六日
クサイ	二十八日	三月二日
ヤルト	三月四日	三月九日
ボナベ	十六日	三月二十二日
トラツク	二十四日	四月二日
サイパン	四月五日	四月八日

○震災應急費支辨物品購買ノ爲大阪へ出張ノ當局派遣
員事務所ヲ左ニ開設セリ(海軍省經理局)

大阪市北區堂島濱通三丁目三

海軍監督官事務所内

○正誤

十二 海軍諸例期中

卷一八〇七ノ二頁四行ノ次へ左記ヲ脱ス

「前項ノ場合ニ於テ各海軍工廠長、海軍造
兵廠長又ハ海軍火藥廠長ハ證明書付與前
豫メ之ヲ海軍技術本部長ニ協議スヘシ」

海軍中將從四位勳二等功五級山内四郎本月十日卒
去、葬儀ハ明十一日午後二時ヨリ同四時迄東京府
下下落合四五一番地自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式
執行

休職海軍技手村野倉吉去月二十八日死去セリ

海軍公報 第三千三百十五號 大正十二年十一月十日

一一〇九

2372

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十一月十日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、滿州、日進、五十鈴、榛名、阿蘇、鳳翔、長門、筑摩、

迅鯨、口金剛、北上、若宮、

如初春、初雪、春風、響、有明、

如月、神風、吹雪、初霜、夕立、

白露、夕暮、三日月、葛、萩、藤、薄、

驅三、驅五、矢風、浦風、時雨、夕風、

島風、灘風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、汐風、夕風、澤風、沖風、

峯風、波風、驅一、野風、沼風、

潛波一、潛波二、潛一四、潛波一〇、

潛五七、潛四六、潛四七、潛三〇、

潛二九、潛二八、潛五八、

掃一、掃二、掃三、

雄、鷗、鴻、

【石川島】

驅一二、

浦賀、阿武隈、

大和、膠州、尻矢、

朝日、洲崎、鳴戶、大泊、青島、富士、

【岩井袋】

松江、

【大湊】

春日、

樺、櫻、桑、楨、

【青森】

關東、

土佐、山城、扶桑、平戶、淀、千歲、

勝力、木曾、明石、天龍、駒橋、

球磨、多摩、大井、伊勢、日向、

矢矧、韓崎、鬼怒、

追風、彌生、卯月、疾風、浦波、

長月、水無月、磯波、綾波、菊月、

時津風、磯風、天津風、濱風、驅一六、

驅一八、驅一〇、驅四、

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、

潛波七、潛波八、潛二七、潛二五、

潛二六、潛三三、潛三七、潛二四、

潛二三、潛二〇、潛三六、潛三四、

潛三五、潛一九、潛四四、潛五一、

早鞆、野間、攝津、劍崎、能登呂、

【大阪】

驅六、

潛六九、潛七一、潛七二、潛七三、

潛七〇、

間宮、

【多度津】

江風、葵、谷風、菊、

【德山】

室戶、

【舞鶴】

山風、海風、榎、檜、驅七、

【佐世保】最上、宇治、出雲、吾妻、利根、夕張、常磐、下田、陸奥、名取、由良、長良、霧島、比叡、對馬、
 松風、霞、
 杉、榎、
 竹、榎、
 菱、葦、
 潜一八、潜二二、
 潜四一、潜六二、
 敷島、
 長崎、
 鎮海、
 野島、
 旅順、
 上海、
 南京、
 漢口、
 長沙、
 宜昌、
 重慶、
 廣東、
 廣東、

隱戸 (十月二十九日吳發「サンペドロ」)
 神威 (五日横須賀發「桑港」)
 柳、檜 (六日漢口發「上海」)
 佐多 (六日横須賀發「ホノルル」)
 八雲、磐手、淺間 (七日横須賀發「上海」)
 潜四五 (八日吳發「佐世保」)
 武藏 (八日横須賀發「測地」)
 高崎 (八日横須賀發「神戶」)
 石廊 (八日「タラカン」發)
 鳥羽 (九日宜昌發「漢口」)

海軍公報 第三千三百十五號

大正十二年十一月十日

(部内限一頁)

一一一